



武蔵だより

令和7年11月7日

第11号

生徒数 287名

学校教育目標 「自律・共生」 目指す学校像 「一人ひとりが輝く 自律と安心のキャンパス」

感動をありがとう！！第64回 合唱祭

校長 遠藤 誠

みんなの歌声 広がる未来 咲かせよう心の花

合唱祭スローガン

さん 作

11月6日（木）第64回合唱祭。
指導者として招聘し、武蔵野音楽大学 バッハザールで開催しました。

様を

さて、今年の合唱祭ですが、年々バージョンアップした大変素晴らしいものになったと思います。昨年度同様音楽鑑賞教室も組み込み、様をお招きしての「弾き語り」は、みなさんのみならず会場のすべての人にも感動を覚えたのではないのでしょうか。

私の感想となりますが、簡単に合唱祭を振り返りたいと思います。音楽鑑賞教室「弾き語り」計り知れない大きな緊張感の中でのオープニング。はれま学級のミュージックベルの音色が個々の体から出ているようで、聴いている人々の心に奥深く響いてきました。自信をもって演奏していた姿はとても素敵でした。日頃の練習の成果の賜物です。はれま学級のみなさんの頑張りは、間違いなく合唱祭全体を大成功に導いてくれました。

1年生は、入学して半年余り。
学年合唱「Let's search for Tomorrow」は、一歩大人への階段を上り、自分探しの旅に行く気迫を感じる合唱でした。1年生らしい純粋な歌声で会場を魅了しました。2年後の成長を期待させてくれました。

2年生は、「自分たちが輝くのは今だ！」
と言うような思いが強く伝わってくる合唱でした。指揮者がリードし、伴奏者がどっしりと支えているバランスの取れた素晴らしいものでした。昨年度から大きくジャンプアップした姿に、来年度の最高学年としてのパフォーマンスが楽しみになってきました。

3年学年合唱「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」

そして3年生、「よくぞここまでやってくれたか」というような、声の響き、力強さ、ハーモニー、表現力、そして何よりも合唱にかけの意気込みが感じられた大変立派なものでした。もう一度、3年生の合唱を聴きたいと思う余韻が残っています。感動をありがとう。

「一期一会」ならぬ「一期一唱」。仲間と「心をつなぐ」にして取り組んだ経験から「絆の中に自分がある喜び」を感じて欲しいと願っています。